

科目名 Course Name	児童・家庭福祉 Child and Family Welfare	ナンバリング No.	I1-003				
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊信成						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または社会福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>高度な社会システムとともに生活も豊かになっている現代社会において、児童が健全に育ち豊かな人格形成をすることがかえって難しい状況である。この授業では事例を中心としながら福祉・教育・心理など多角的なアプローチによって理解を深めていく。そして児童の個々の諸問題に応じた援助技術を学んでいき、その理解と実践力の習得を図る。</p> <p>①児童及び家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要について理解し、説明できるようにする。 ②児童及び家庭福祉制度の発展過程について理解し、説明できるようにする。 ③児童の権利について理解し、説明できるようにする。 ④相談援助活動において必要となる児童及び家庭福祉制度や児童及び家庭福祉に係る他の法制度について理解し、説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	①児童の定義や児童及び家庭福祉制度の構造と仕組みを体系的に説明することができる。 ②児童の権利について、歴史的背景と制度の概要を明確にし、説明することができる。					
	L03	児童及び家庭福祉に係る他の法制度が何故必要なかを明確にし、説明することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	① 最新 社会福祉士養成講座3『児童・家庭福祉』中央法規出版 ②『現代社会福祉の諸相』大学図書出版 大熊編著他 授業中に指示し、資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					

試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60
その他				
<b>合計</b>			40	60
<b>回数</b>		<b>授業計画</b>		
1	<b>授業内容</b>	ガイダンス(授業の進め方、留意事項、成績評価等) 現代社会と児童福祉・家庭福祉の役割		
	<b>事前・事後学習</b>	児童福祉の意味についてテキストを参照にしてノートにまとめること。		
2	<b>授業内容</b>	児童福祉の理念とはー児童家庭福祉の発達について 歴史的変遷		
	<b>事前・事後学習</b>	児童福祉の理念についてテキストを参照にしてノートにまとめること。		
3	<b>授業内容</b>	児童家庭福祉の理念ー児童の権利とは		
	<b>事前・事後学習</b>	児童の権利についてテキストを参照にしてノートにまとめること。		
4	<b>授業内容</b>	現代社会における児童家庭福祉ー現代社会の児童問題		
	<b>事前・事後学習</b>	現代社会における児童を取り巻く問題について各自ノートにまとめること。		
5	<b>授業内容</b>	現代社会における児童家庭福祉ー少子・高齢化について レポート「現代社会における子ども」※提出は第 6 回目の授業日		
	<b>事前・事後学習</b>	少子高齢化について調べる。レポートを作成すること。		
6	<b>授業内容</b>	現代社会における児童家庭福祉ー子育て家庭支援サービスと自立支援サービスについて		
	<b>事前・事後学習</b>	子育て家庭支援サービスと自立支援サービスについて調べておくこと。		
7	<b>授業内容</b>	児童家庭福祉の法体系と実施体制ー児童福祉法について		
	<b>事前・事後学習</b>	児童福祉法についてテキストを参照にしてノートにまとめること。		
8	<b>授業内容</b>	児童家庭福祉の法体系と実施体制ー児童憲章や児童福祉法の関連法律について		
	<b>事前・事後学習</b>	児童憲章や児童福祉関連法規についてテキストを参照にしてノートにまとめること。		
9	<b>授業内容</b>	児童家庭福祉の法体系と実施体制ー施策の体系と児童福祉施設について		
	<b>事前・事後学習</b>	児童福祉施設について調べておくこと。		
10	<b>授業内容</b>	児童の権利に関する条約について 児童権利擁護		
	<b>事前・事後学習</b>	児童の権利に関する条約についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。		
11	<b>授業内容</b>	障害児の福祉について レポート「障害児における支援」※提出は第 12 回目の授業日		
	<b>事前・事後学習</b>	障害児の福祉について調べておくこと。レポートを作成すること。		
12	<b>授業内容</b>	要養護児童及び要保護児童について		
	<b>事前・事後学習</b>	要養護児童及び要保護児童についてテキストを参照にしてノートのまとめること。		
13	<b>授業内容</b>	児童を取り巻く諸問題 児童虐待①		
	<b>事前・事後学習</b>	児童虐待の定義について調べておくこと。		
14	<b>授業内容</b>	児童を取り巻く諸問題 児童虐待②		
	<b>事前・事後学習</b>	虐待の早期発見についてテキストを参照にして自分の意見をまとめておくこと。		
15	<b>授業内容</b>	児童家庭福祉の専門職とその連携について 授業のまとめ		
	<b>事前・事後学習</b>	児童家庭福祉緒専門職について調べておくこと。試験対策を行うこと。		